

御代田 消防署からみなさんへ

火気取扱いの注意点・令和6年秋季火災予防運動について



秋から冬にかけて、たき火等の火気の使用が増加してきます。その中で、火災の原因の多くは一人ひとりの不注意によるものです。御代田消防署からは火気の手扱いの注意点と令和6年秋季火災予防運動についてお知らせします。

火気取扱いの注意点

●寝たばこは絶対にしない！

火災の原因で一番多いのがタバコによる火災です。また寝タバコをして、ついウトウトしてしまい火災になるケースは珍しくありません。タバコを吸うときは水と灰皿を用意して必ず火を消しましょう。

●野焼き、たき火をする際には必ず消火器、水を用意しましょう！

炎は風にあおられると一気に燃え上がります。炎が大きくなってから水などを準備し始めても間に合いません。消火用の道具（水のほか、スコップなど）を準備してから実施しましょう。

火が消えるまでは決して離れないでください。その場を離れる時、また燃え尽きた際には、確実に消火できたか確認しましょう。

●野焼き、たき火の際は消防署に届け出を！

佐久広域連合火災予防条例第50条により、火災とまぎらわしい煙または火災を発生させるおそれのある行為を行う場合は消防署へ届け出ることであります。何かあった際に迅速に対応するため必要な届出です。ご協力をお願いします。

令和6年秋季火災予防運動について

毎年、11月9日から11月15日までの7日間にわたり
火災予防運動を実施しております。



①目的…火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

②取り組み…消防団と合同の火災予防パレードや、火災予防パトロール、各施設の査察等を行い火災予防意識の向上、指導を行っています。

③御代田町管内火災件数増加について

令和6年度御代田町管内火災件数は3件（8月1日現在）であり、どの火災も火気の手扱いの不注意によって火災が発生しました。もう一度火気の使用について確認し、安全に使用するようお願いします。

問い合わせ先 佐久広域連合消防本部 御代田消防署 (32) 0119 ※お掛け間違いにご注意ください。

(広告欄)

もうすぐ雪が降ります

冬タイヤの準備はお早めに！

各メーカー、特価にてご用意！詳しくはスタッフまで

やまいし(株) 小田井SS TEL.32-3306
駅前SS TEL.32-4051

Tシャツ、ポロシャツ
スタッフジャンパー
の印刷やっています

ユニ企画印刷(有)
TEL.0267-32-2502
<http://www.unipp.net>

自分と周りの人のために

禁煙しましょう!!



たばこは、吸う人（喫煙者）はもちろん、吸わない人（非喫煙者）の健康にも影響します。当町の第3期データヘルス計画では、町民の方で、たばこを吸っている人の割合（喫煙率）は、令和4年度では13.1%であり、特に女性の喫煙率が下表のとおり6.4%と高く、県平均を2.2%上回る結果となり、順位も県内6位となっています。たばこには、ニコチン・タール・一酸化炭素などの有害物質が多く含まれています。ご自身の健康や、家族や周りの人を守るためにも禁煙してみませんか。

喫煙による健康への影響

喫煙は、日本人の死因の第1位であるがんをはじめとして、循環器疾患（虚血性心疾患や脳卒中）、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、糖尿病など数多くの病気の発症や死亡のリスクを高める危険因子です。

喫煙者の死亡率は非喫煙者より高く、国内で喫煙に関連する病気で亡くなった人は、年間で12～13万人と推定されています。

妊娠中の喫煙と子どもへの影響

妊娠中の女性が喫煙すると、妊娠合併症のリスクが高まります。また、たばこに含まれるニコチンには血管を収縮させる作用があるため、子宮や胎盤の血流量が減少し、赤ちゃんにうまく酸素が届けられず、流産や早産、発達遅滞や低体重を引き起こすなど、赤ちゃんの健康にも影響を及ぼします。次の世代を担う子どもの健康被害を防ぐためにも、妊娠中は喫煙はやめましょう。



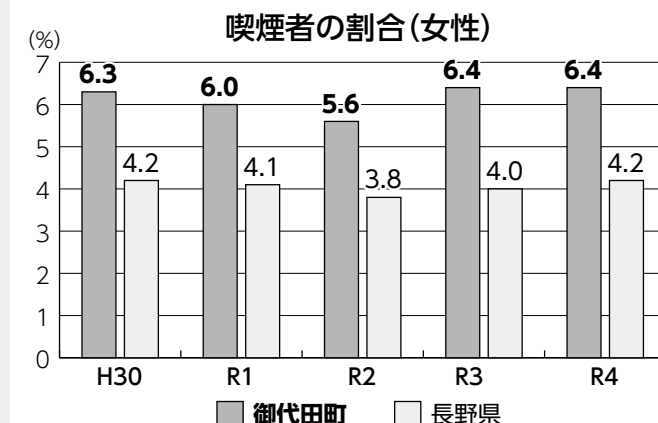
周りの人をも巻き込む「受動喫煙」

喫煙者以外が、喫煙者から出るたばこの煙を吸い込むことを「受動喫煙」といいます。たばこから出る煙（副流煙）には、吸う人よりも高い濃度の有害物質が含まれており、煙を吸い込むことで、健康に大きな影響を及ぼします。換気扇の下など、家の中で吸う場所を配慮しても、受動喫煙を完全に防ぐことはできません。

禁煙について

喫煙期間と喫煙本数が多いほど、病気のリスクは高くなります。喫煙習慣のある人は、自分のためにも、家族や周囲の人を巻き込まないためにも、禁煙をしましょう。

たばこに含まれるニコチンには強い依存性があり、自分の意志だけではやめたくてもやめられないことが多いです。現在は禁煙補助剤（ニコチンガムやニコチンパッチなど）や禁煙外来など、自分に合った方法で禁煙に取り組むことが可能です。



問い合わせ先 保健福祉課国保年金係 (32) 2512